

T-COR 8™

クイックスタートガイド

PLM-0666-2

発行日: 2024 年 6 月

カタログ番号: TC-5015-001 (4 チャンネル)、TC-5028-001 (5 チャンネル)、TC-5049-001 (ユーザー交換可能なバッテリー付き 5 チャンネル)、TC-5018-001 (磁気ミキサー)

目次

本ガイドの使用について	5
本ガイドの目的.....	5
文字表記について	5
関連文書.....	6
記号の定義.....	7
詳しい情報の入手方法.....	10
連絡先情報.....	10
安全に関する重要な注意事項	11
重大なインシデントの報告.....	11
用途	12
臨床パフォーマンス特性	12
該当するソフトウェアバージョン.....	12
開梱および付属品.....	13
必要な消耗品（付属品に含まれていないもの）	15
設置の必要条件.....	16
環境条件.....	16
電気コンセントへの接続.....	17
装置の電源を ON にする方法.....	18
付属品の磁気ミキサー.....	19
T-COR 8™への接続.....	19
装置の使用	20
装置の使用に関する概要	20

予めインストールされたユーザーアカウント	20
スタンドアロンモード	22
直接接続モード	23
アクセスポイント接続モード	25
ネットワーク接続モード	27
設定を実行するためのクイックガイド	29
新規測定を作成	29
索引	33

本ガイドの使用について

本ガイドの目的

T-COR 8™ クイックスタートガイドには、T-COR 8™ の操作に必要な基本情報が記載されています。このガイドは、以下のようなユーザーを前提として作成されています：

- Google Chrome ウェブブラウザの使用に精通している。
- ハードドライブ、データストレージ、ファイル転送、コピーアンドペーストについて一般的な理解を持っている。



T-COR 8™ を操作する前に、*Tetracore T-COR 8™* ハードウェアマニュアル (PLM-0665) および *Tetracore T-COR 8™* ソフトウェアマニュアル (PLM-0667) の情報を確認してください。

文字表記について

このガイドでは、次の規則を使用しています。

- 太字は、表示内容を表します。例えば、ページタイトルやテキストボックスなど。
- [括弧付き]のテキストは、ボタンを表します。例：[測定開始] ボタンを押します。
- 下線の入ったテキストは、重要性が強調されていることを示しています。例：データの損失を防ぐために、すべての測定が完了するまで T-COR 8™ をオフにしないでください。
- イタリック体は、詳細情報への参照を示しています。例：*身体的な安全上の危険*を参照してください。

関連文書

表 0-1 にリストされているマニュアルのソフト コピー バージョンは、T-COR 8™ ソフトウェア ユーザー インターフェイスで入手できます。マニュアルは外部デバイスの Web ブラウザからアクセスできますが、スタンドアロン モードでは利用できません。マニュアルは、[メニュー] から[情報]を開き、[マニュアル]ボタンを押すと開きます。


文書	品番	説明
T-COR 8™ ソフトウェアマニュアル	PLM-0667	<i>Tetracore T-COR 8™</i> ソフトウェアマニュアルには、T-COR8 の操作に必要な情報が記載されています。
T-COR 8™ ハードウェアマニュアル	PLM-0665	<i>Tetracore T-COR 8™</i> ハードウェアマニュアルには、T-COR8 を使用するうえで必要な情報が記載されています。
T-COR 8™ LIS 接続仕様書	PLM-0668	<i>Tetracore T-COR 8™ LIS 接続仕様書</i> には、T-COR 8™装置から LIS のサーバーに送信される HL7 のメッセージが記載されています。

記号の定義

次の表に、T-COR 8™の装置、包装パッケージ、または関連文書で使用される記号を示しています。

記号	説明
	装置の製造元を示します。
	製造国を示します。この記号の横に製造日を追加できます。
	本装置を現地に輸入している会社が表示されます。
	本装置を現地で販売している会社が表示されます。
	特定の装置を識別できるように製造元の製造番号が表示されています。
	装置を識別できるように、製造元のカタログ番号を示します。
	バッチまたはロットを識別できるように、製造元のバッチコードを示します。
	単回使用のみを目的としたデバイスを示します。
	装置で実行できるテストの総数を示します。

記号	説明
	<p>ユーザーは使用説明書を参照する必要があることを表します。この記号の横に、使用説明書の場所を示す eiFU インジケーターを追加できます。</p>
	<p>湿気から保護しなければならない機器であることを示しています。</p>
	<p>本装置が安全である限界温度を示します。</p>
	<p>適用されるすべての EU 法に準拠したデバイスを示します。これには次のものが含まれます。体外診断用医療機器規制 (EU) 2017/746 (IVDR)、低電圧 (LVD) に関する指令 2014/35/EU、電磁両立性 (EMC) に関する指令 2014/30/EU、および電気電子機器における特定有害物質の使用制限 (RoHS) に関する欧州連合指令 2011/65/EU (統合版)。これには、委任指令 2017/2102 によって導入された修正が含まれます。IVDD 98/79/EC、LVD 2006/95/EC、および EMC 2004/108/EC への準拠は、カタログ番号 TC-5015-001 および TC-5028-001 に適用されます。</p>
	<p>体外診断用医療機器としての使用を目的とした医療機器を指します。</p>
	<p>本製品を未分類の一般ごみとして処分しないでください。電気・電子機器廃棄物 (WEEE) による環境への影響を低減するための適切な処分規定については、地方自治体の廃棄物規定に従ってください。</p> <p>欧州連合区域のお客様へ： 機器の集荷およびリサイクルについては、Tetracore の技術担当者にお問い合わせください。</p>
	<p>欧州共同体の認定販売者であることを示します。</p>

記号	説明
	<p>米国 EMC 規格：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラス A：本装置は、FCC 規則第 15 部に準拠しています。操作に関して次の 2 つの条件があります。(1) 本装置が有害な混信を起こさないこと。(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。 ● メーカーによって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、その機器を操作するユーザーの権限が無効となる場合があります。 ● 注記：この機器は試験済みであり、FCC 規則第 15 部に準拠したクラス A デジタル機器の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地域での設置において、有害な混信に対する合理的な保護を提供するように設定されているものです。この装置は、無線周波数エネルギーを生成して放射する可能性があり、指示に沿って設置されなかった場合、無線通信に有害な混信を引き起こす可能性があります。ただし、特定した設置であれば混信が発生しないという保証はありません。この機器によってラジオやテレビの受信に干渉が起きるかどうかは、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次のうちの 1 つ以上の方法で干渉を修正することが推奨されます： <ul style="list-style-type: none"> ○ 受信アンテナの向きを変えるか、ほかの場所に移動する ○ 機器と受信機の間隔を広げる ○ 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する <p>販売業者または有経験のラジオ・テレビ技術者に相談する</p>

詳しい情報の入手方法

連絡先情報



Tetracore, Inc.

電話: +1 240.268.5400

77 Upper Rock Cir.

ファックス: +1 240.268.1107

Suite 600

E メールアドレス:

Rockville, MD 20850-3986

customersupport@tetracore.com

United States of America

www.tetracore.com



EMERGO EUROPE

Westervoortsedijk 60


6827 AT Arnhem


The Netherlands


安全に関する重要な注意事項


危険な状況を回避し、T-COR 8™の適切な動作を確保するために、次の注意事項を常に守ってください。

クイックスタートガイド全体をとおして次の記号が使われています。

 **注意：** 回避されない場合はユーザーに軽傷または中程度の傷害をもたらすことや、機器に損傷を与えたりする可能性のある危険な状況であることを示します。

 **警告：** 回避されない場合は重傷または死亡につながる可能性のある危険な状況であることを示します。

 **注：** には、T-COR 8™の使用に関する情報が提供されています。製品を使用する前に、注意事項をよくお読みください。

 **重要！** T-COR 8™の適切な操作に必要な情報が提供されています。

本クイックスタートガイドを読む際は：

- すべての指示を読んでください。
- すべての指示を守ってください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。

重大なインシデントの報告

装置に関連して発生した重大な事故は、製造業者およびユーザーおよび/または患者が所在する加盟国の管轄当局に報告する必要があります。

用途

T-COR 8™は、PCR、RT-PCR、等温、およびその他インビトロの核酸増幅テストでの使用を目的とした半自動リアルタイムサーモサイクラーです。T-COR 8™は、DNA または逆転写されたRNA サンプルからのリアルタイムの核酸増幅シグナルを測定し、定性的な結果を提供します。T-COR 8™は、検査技師による使用を意図した装置です。



警告 T-COR 8™は 輸出専用です。米国では使用できません。

臨床パフォーマンス特性

臨床性能特性は、サンプルの種類、サンプル処理方法、およびアッセイによって異なります。

Tetracore の T-COR 8™の顧客（例：ユーザー、販売業者）は、遺伝子配列決定、増幅、検出、分析に関連する診断結果を生成するためのサードパーティ製キットと試薬の使用を開発および検証する責任があります。この責任には、保管などの安定性、該当する場合は検体の輸送条件、およびタイムクリティカルな分析方法を考慮して、検体の採取から分析までの時間枠や保管条件に関する情報など、分析できる検体の種類の検証も含まれます。

これは、Tetracore が T-COR 8™で実行する独自のアッセイを開発した場合、つまり、T-COR 8™を機器プラットフォームとして使用しながら、アッセイの技術開発の一環として、関連する診断パラメーターが確立および検証される場合にも当てはまります。

該当するソフトウェアバージョン

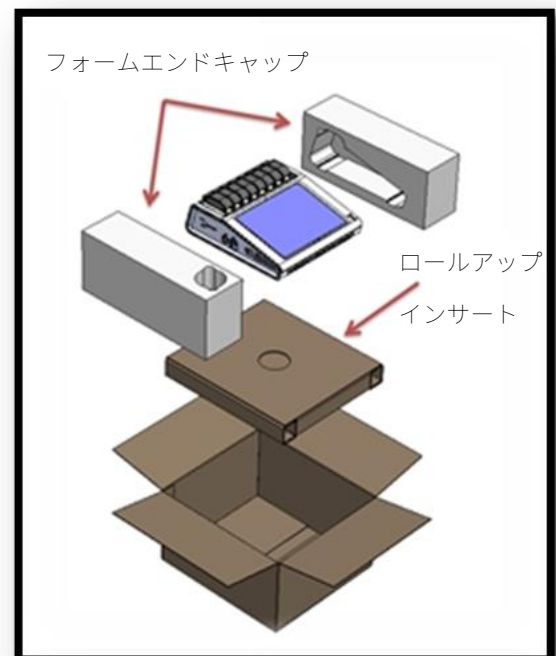
このガイドは、Iona ソフトウェアリリースに適用されます。

開梱および付属品

梱包テープをはがし、配送用ボックスの側面を広げて装置を開梱します。



フォームエンドキャップを装置に取り付けたままの状態、装置をボックスから取り出します。ボックスから取り出してから、左右のフォームエンドキャップを機器から引き抜きます。ロールアップインサートをボックスから取り出します。



ロールアップインサートの大きい方のフラップを広げると、中に付属品が入っています。




パッケージに含まれている次の品目を確認してください。

- T-COR 8™装置
- AC アダプタ
- 電源コード
- イーサネットケーブル
- T-COR 8™チューブ用ラック
- 磁気ミキサー（別売り）
- USB(A)オス-USB(miniB)オス（別売り）



本体装置または付属品が、不足または損傷している場合は Tetracore にご連絡ください。

 注意：USB は、Tetracore が推奨する付属品に使用するためのみに設計されています。Tetracore が推奨するもの以外の USB アクセサリを使用すると、T-COR 8™ または USB アクセサリが損傷する可能性があります。


装置に搭載されているソフトウェアからアクセスが可能なもの：

- ハードウェアマニュアル
- クイックスタートガイド
- ソフトウェアマニュアル
- LIS 接続仕様書

必要な消耗品（付属品に含まれていないもの）


T-COR 8™ を使用するには T-COR 8™ チューブが必要ですが、付属されていません。T-COR 8™ チューブは、T-COR 8™ リアルタイムサーマルサイクラーでのみ使用するポリプロピレンチューブです。これは、PCR、RT-PCR、等温、その他体外の核酸増幅法の診断テストで使用する検体を保持するために必要な使い捨てアクセサリです。これらのご注文は、Tetracore 製品販売代理店までご連絡ください。

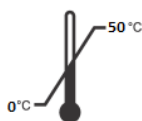
品目	カタログ番号
T-COR 8™ 反応用チューブ	TC-5029-500

 警告：必要な消耗部品について、安全性や性能に影響を与える可能性のある他の製品を代わりに使用しないでください。

設置の必要条件


環境条件

 **警告：**身体的傷害の危険。本製品は、このマニュアルで指定されている方法でのみ使用してください。Tetracore が指定していない方法でこの装置を使用すると、怪我や装置の損傷につながる可能性があります。



作業条件として必要な気温の範囲は、0°C (32°F) から 50°C (122°F) の間です。


少なくとも 7kg (15 ポンド) の重量を支えることができる、平らで頑丈な面に装置が置かれていることを確認してください。


 **注意：**換気口から 6 インチ (15.24cm) 以内を塞いだり、物を詰めたり、ほこりを溜めないようにしてください。装置の作動中は、閉じたブリーフケースの中など空気循環の少ない環境に装置を保管しないでください。空気の流れが制限されると、T-COR 8™が損傷したり、火災が発生したりする可能性があります。





この装置は防水性または耐水性ではありません。装置の損傷を防ぐため、T-COR 8™を液体に近づけないようにしてください。

電気コンセントへの接続


 注意：AC アダプタは、100～240VAC および 47～63Hz の範囲の主電源の使用においてのみ作動します。ただし、AC 電源プラグとソケットは国によって異なります。互換性のない電源プラグを使用したり、ケーブルを電源タップやコンセントに不適切に接続したりすると、火災や機器の損傷を引き起こす可能性があります。

 注意：火災や機器の損傷の原因となる可能性があるため、この装置にはどのような種類のインバータも使用しないでください。

 注意：火災や機器の損傷を引き起こす可能性があるため、この装置にはどのような種類の車の充電器も使用しないでください。


 注、最低 220 W を供給できる主電源 (壁面電源など) のみを使用してください。ほとんどの標準的な主電源はこの要件を満たしています。


DIN コネクタ (オス) を T-COR 8™ に接続する前に、電源コードを AC アダプタに接続してください。オス DIN コネクタのくぼみを装置のキャレットマークに合わせ、メス DIN コネクタに完全に挿入し、AC アダプタを T-COR 8™ に接続します。安全に電源を切断するには、AC アダプタのオス DIN コネクタを、装置のメス DIN コネクタから外してください。

 注：AC アダプタを T-COR 8™ から外すときは、ケーブルやコネクタの損傷を防ぐために、ケーブル部分ではなくコネクタをつかみ、ねじらずにしっかりと静かに引っ張るようにしてください。

装置の電源を ON にする方法

電源ボタンを押すと、装置のオンとオフが切り替わります。装置の電源がオンになると、ボタンの周りの LED の輪が点灯します。同様に、装置の電源がオフの場合、LED は点灯しません。

 注：データの損失を防ぐために、すべての測定で「Run Complete」というメッセージが表示されるまで T-COR 8™ をオフにしないでください。

 注：装置の電源をオフにした後、装置の電源を再度オンにする場合、その前に少なくとも 15 秒待ってください。

付属品の磁気ミキサー

付属品の T-COR 8™磁気ミキサーが必要です。これは別途購入する必要があります。Tetracore の磁気ミキサーはオプションのアクセサリで、Tetracore の T-COR 8™および T-COR 8™チューブ専用設計されています。磁気ミキサーは USB 電源で、T-COR 8™を介して操作します。

T-COR 8™への接続

磁気ミキサーの使用が必要なアッセイの実行を計画する場合、この手順に従ってください。

1. T-COR 8™の電源を切ります。
2. 次の USB コードを確認してください：ミキサーに付属の USB-A（オス） – miniB（オス）（5 ピン）。
3. この USB ケーブルの miniB（オス）（5 ピン）側を磁気ミキサーに接続します。
4. USB ケーブルの A（オス）側を T-COR 8™に接続します。



5. T-COR 8™の電源を入れてください。

! 注：機器の電源を入れる前に、磁気ミキサーを T-COR 8™に接続してください。

! 注：磁気ミキサーは、電源を入れると約 20 秒間音が鳴ります。

! 注意：磁気ミキサーは T-COR 8™専用です。このミキサーを他の機械に使用すると、機器が損傷する可能性があります。

装置の使用

装置の使用に関する概要

T-COR 8™装置は、次の4つの方法で使用することができます：

1. スタンドアロンモード
2. 直接接続モード
3. アクセスポイント接続モード
4. ネットワーク接続モード

スタンドアロンモードでは、T-COR 8™タッチスクリーンが使用されます。これには外部デバイス（コンピューターなど）は必要ありません。直接接続モードでは、イーサネットケーブルと、Google Chrome™ ウェブブラウザを任意のオペレーティングシステムにインストールした外部デバイスが必要です。アクセスポイント接続モードでは、任意のオペレーティングシステムに Google Chrome™ ウェブブラウザがインストールされた Wi-Fi 対応の外部デバイスが必要です。ネットワーク接続モードでは、あらゆるタイプ（有線または無線）のネットワークと、任意のオペレーティングシステムに Google Chrome™ ウェブブラウザがインストールされている外部デバイスが必要です。



注：装置にアクセスするためにインターネット接続は必要ありません。

予めインストールされたユーザーアカウント

T-COR 8™には、user と admin という2つのユーザー アカウントがプリインストールされています。Tech ロールは user に割り当てられ、Admin ロールは admin に割り当てられます。

T-COR 8™ を元のパッケージから取り出すときは、ユーザーも管理者もパスワードを必要としません。パスワードを変更することが可能です。詳細については、Tetracore T-COR 8™ ソフトウェア マニュアルの「ユーザー管理」を参照してください。緑色のテキストは、特定の機能にアクセスできるロールを示します。

スタンダロンモード

スタンダロンモードでは、装置は、データをセットアップまたは表示するために外部デバイス（例えば、コンピューター）を必要としません。T-COR 8™のスタンダロンモードでは、装置の携帯が可能です。T-COR 8™には、必要なときにスクリーン上のキーボードが使用できるタッチスクリーンがついています。スタンダロンモードでは、待ち受け画面が30秒後に自動的に暗くなるようにタイマー設定されています（バッテリーが消費されている場合のみ）。これは、タッチスクリーンをタップすると元に戻すことができます。レポート、温度グラフ、タッチスクリーンキャリブレーション、ライセンスページを除き、すべてのソフトウェア機能にスタンダロンモードでアクセスできます。ダイレクト Zip ダウンロードは、外部デバイス上の Google Chrome™ 経由でのみアクセスできます。

1. 装置は水気のない平らな場所に設置してください。



注意：換気口から6インチ（15.24cm）以内を塞いだり、物を詰めたり、ほこりを溜めないようにしてください。装置の作動中は、閉じたブリーフケースの中など空気循環の少ない環境に装置を保管しないでください。空気の流れが制限されると、T-COR 8™が損傷したり、火災が発生したりする可能性があります。

2. 右側のサイドパネルにある電源スイッチを押して、装置の電源を入れます。LED リングが点灯しているときは装置の電源が入っています。



注：ライトが点灯しない場合、バッテリーが完全に切れています。その場合は次を行ってください：

1. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を切ります。電源スイッチボタンが外輪と同じ高さであるようにしてください。
2. オスの DIN コネクタを T-COR 8™に接続する前に、電源コードを AC アダプタに接続します。

3. AC アダプタのオスの DIN コネクタのくぼみを、装置のキャレットマークに合わせての、DIN をメス DIN コネクタに完全に挿入します。
4. 装置の電源を再度入れる前に、15 秒待ちます。
5. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を入れます。

3. 装置は使用できる状態になっています。

直接接続モード


直接接続モードでは、ユーザーは装置のタッチスクリーンを使用する代わりに、イーサネットケーブルをつないでコンピューターから T-COR 8™ソフトウェアにアクセスすることができます。T-COR 8™ソフトウェアにアクセスするには、コンピューターに Google Chrome™がインストールされていなければなりません。直接接続モードを使用すると、すべてのソフトウェア機能にアクセスできます。直接接続モードでソフトウェアにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 装置は水気のない平らな場所に設置してください。




注意：換気口から 6 インチ (15.24cm) 以内を塞いだり、物を詰めたり、ほこりを溜めないようにしてください。装置の作動中は、閉じたブリーフケースの中など空気循環の少ない環境に装置を保管しないでください。空気の流れが制限されると、T-COR 8™が損傷したり、火災が発生したりする可能性があります。

2. イーサネットケーブルの一方の端をデスクトップまたはラップトップコンピューターのイーサネットポートに接続します。イーサネットケーブルのもう一方の端を、左側のサイドパネルにあるイーサネットポートに接続します。
3. 右側のサイドパネルにある電源スイッチを押して、装置の電源を入れます。LED リングが点灯しているときは装置の電源が入っています。

 注：ライトが点灯しない場合、バッテリーが完全に切れています。その場合は次を行ってください：

1. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を切ります。電源スイッチボタンが外輪と同じ高さになっているようにしてください。
2. オスの DIN コネクタを T-COR 8™に接続する前に、電源コードを AC アダプタに接続します。
3. AC アダプタのオスの DIN コネクタのくぼみを、装置のキャレットマークに合わせての、DIN をメス DIN コネクタに完全に挿入します。
4. 装置の電源を再度入れる前に、15 秒待ちます。
5. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を入れます。

-
4. タッチスクリーンでログインし、メニュー-> Wi-Fi とネットワーク->イーサネット設定に移動し、直接接続モードが「オン」になっていることを確認します。装置の IP アドレスがタッチスクリーンの右下に表示されるまで待ちます。
 5. 接続されているコンピューターを使用して、Google Chrome™ ウェブブラウザを開きます。
 6. ブラウザの URL ボックスに装置の IP アドレスを入力します。


 注：イーサネットケーブルを介してコンピューターに直接接続する場合、IP アドレスは常に 192.168.8.2 です。

-
7. 装置は使用できる状態になっています。


アクセスポイント接続モード

アクセスポイントモードでは、電話やラップトップなどの Wi-Fi クライアントデバイスから T-COR 8™ ソフトウェアにアクセスできます。T-COR 8™ ソフトウェアにアクセスするには、クライアントデバイスに Google Chrome™ がインストールされている必要があります。アクセスポイントモードを使用すると、すべてのソフトウェア機能にアクセスできます。アクセスポイントモードでソフトウェアにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 装置は水気のない平らな場所に設置してください。


 **注意：** 換気口から 6 インチ（15.24cm）以内を塞いだり、物を詰めたり、ほこりを溜めないようにしてください。装置の作動中は、閉じたブリーフケースの中など空気循環の少ない環境に装置を保管しないでください。空気の流れが制限されると、T-COR 8™ が損傷したり、火災が発生したりする可能性があります。

2. 右側のサイドパネルにある電源スイッチを押して、装置の電源を入れます。LED リングが点灯しているときは装置の電源が入っています。

 **注：** ライトが点灯しない場合、バッテリーが完全に切れています。その場合は次を行ってください：

1. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を切ります。電源スイッチボタンが外輪と同じ高さになっているようにしてください。
 2. オスの DIN コネクタを T-COR 8™ に接続する前に、電源コードを AC アダプタに接続します。
 3. AC アダプタのオスの DIN コネクタのくぼみを、装置のキャレットマークに合わせての、DIN をメス DIN コネクタに完全に挿入します。
 4. 装置の電源を再度入れる前に、15 秒待ちます。
 5. 電源スイッチをもう一度押して、装置の電源を入れます。
-

3. タッチスクリーンでログインし、[メニュー]-> [Wi-Fi とネットワーク]-> [AP モードに切り替え]に移動します
4. クライアントデバイスを使用して、新しいオープン Wi-Fi ネットワークに接続します。SSID は装置の製造番号です。現時点では、Wi-Fi セキュリティはオプションではありません。クライアントデバイスで Google Chrome™ ウェブブラウザを開きます。
5. ブラウザの URL ボックスに T-COR 8™ のワイヤレス IP アドレスを入力します。

 注：アクセスポイントモードでコンピュータに直接接続する場合、IP アドレスは常に 192.168.8.3 です。

6. 装置は使用できる状態になっています。

ネットワーク接続モード

ネットワーク接続モードでは、T-COR 8™は有線または無線ネットワークを介したリモートアクセス、制御、およびデータ分析を可能にします。Google Chrome™がインストールされている外部デバイスにアクセスするには、T-COR 8™と同じネットワークに接続する必要があります。ネットワーク接続が正常に確立されると、T-COR 8™に割り当てられた IP アドレスがタッチスクリーンの右下隅に表示されます。ブラウザを開き、適切な IP アドレスを URL ボックスに入力します。ネットワーク接続モードを使用すると、すべてのソフトウェア機能にアクセスできます。

1. 装置は水気のない平らな場所に設置してください。



注意：換気口から 6 インチ（15.24cm）以内を塞いだり、物を詰めたり、ほこりを溜めないようにしてください。装置の作動中は、閉じたブリーフケースの中など空気循環の少ない環境に装置を保管しないでください。空気の流れが制限されると、T-COR 8™が損傷したり、火災が発生したりする可能性があります。

2. 右側のサイドパネルにある電源スイッチを押して、装置の電源を入れます。LED リングが点灯しているときは装置の電源が入っています。
3. イーサネットケーブルまたは Wi-Fi 経由でネットワークに接続する：
 - a. イーサネットケーブル:イーサネットケーブルの一方の端をイーサネットアクセスポイントに接続します。（例えば、モデムまたは壁のイーサネットドロップ）イーサネットケーブルのもう一方の端を、左側のサイドパネルにあるイーサネットポートに接続します。
 - b. Wi-Fi:ソフトウェアのディスプレイ右下にある [メニュー] ボタンを押します。ウィンドウの [Wifi とネットワーク] ボタンを押します。[再スキャン] を押して、

利用可能な Wi-Fi ネットワークを検索します。接続するネットワークを選択します。

4. 同じネットワークに接続されている任意のコンピュータを使用して、Google Chrome™ ウェブブラウザを開きます。
5. ブラウザの URL ボックスに装置の IP アドレスを入力します。



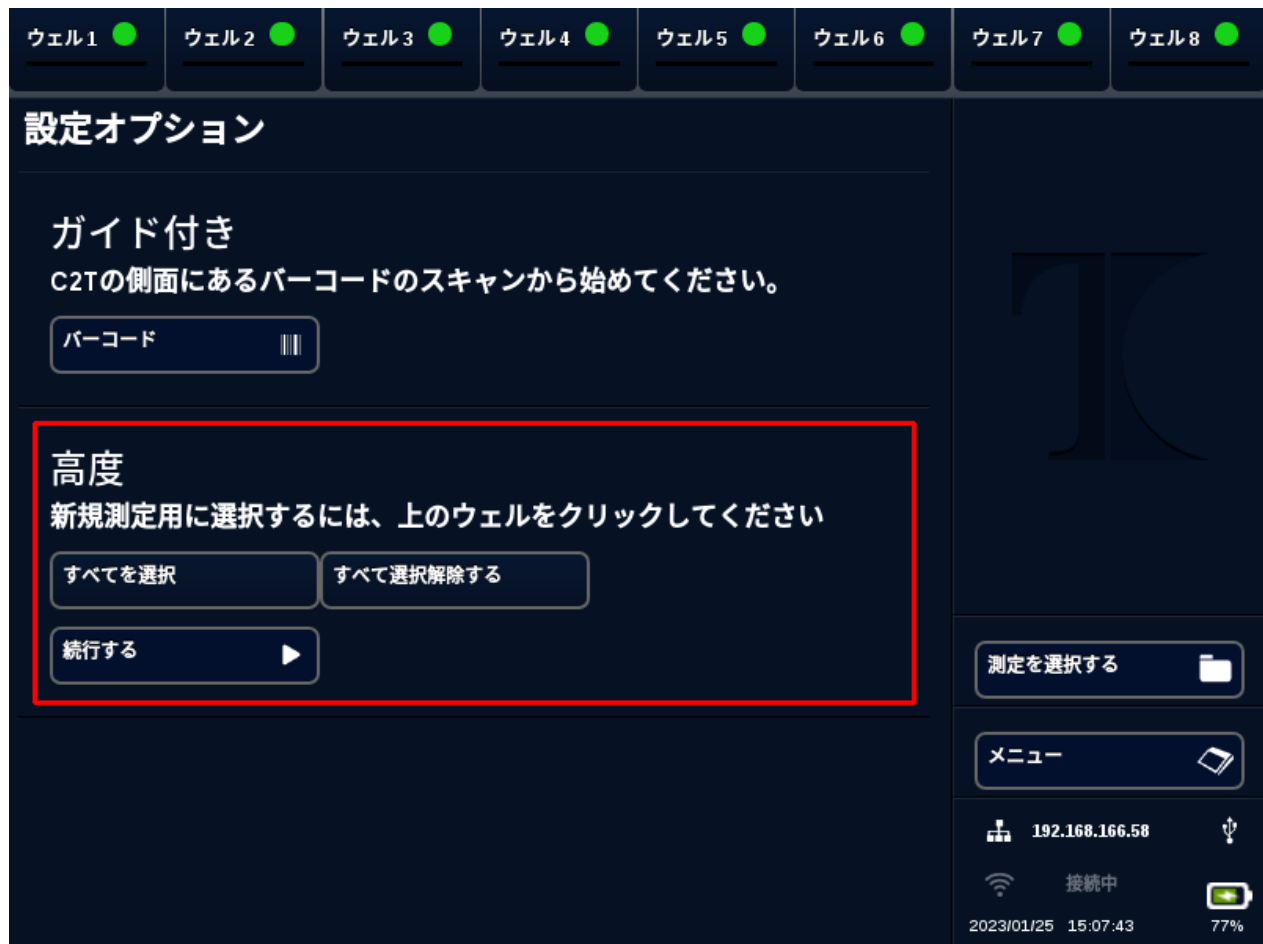
注：装置の IP アドレスは、タッチスクリーンの右下隅にあります。

6. 装置は使用できる状態になっています。

設定を実行するためのクイックガイド

以下の手順は、基本的な概要のみを記載しています。各画面と機能の詳細については、*Tetracore T-COR 8™*ソフトウェアマニュアルを参照してください。

新規測定の作成



1. T-COR 8™にサインインします
2. [メニュー]を開き、[新規測定]を選択します。
3. 対応するウェルヘッダーをハイライトして、使用するウェルを選択します。ハイライトされたウェルヘッダーには、**緑色の丸**が表示されます。[すべてを選択]は、利用可能な

すべてのウェルを選択します。[すべて選択解除] はすべてのウェルの選択を解除します。

! 注 ウェルが現在稼働している場合、それらのウェルは赤いバーでハイライト表示されます。これらのウェルは、現在の測定が完全に終了するまで利用できません。

4. [続行] を選択して新規測定の概要ページに進みます。

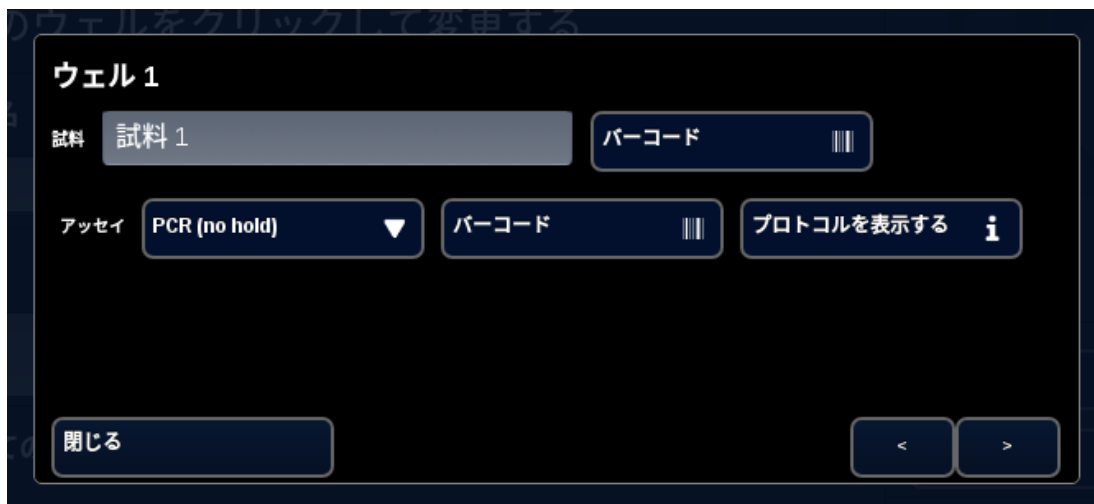


5. 測定名を入力してください（オプション）。備考を入力してください（オプション）。これは測定開始後に変更できますが、測定が完全に終了した後に変更することはできません。

- すべてのウェルに適用するには、アッセイの下のドロップダウンメニューから、この分析に使用するアッセイを選択します。それぞれのウェルに、異なるアッセイを割り当てることもできます（手順 7 を参照）。

! 注 アッセイは事前に定義されている必要があります。アッセイがリストにない場合は、新しい実行を作成する前にアッセイを作成してください（エディターを参照）。これには、管理者およびラボディレクターの役割のみがアクセスできます。

- 複数のアッセイを実行することを選択した場合、黄色の丸のウェルヘッダーが付いたウェルを選択してください。



そのウェルのサンプル名を入力し、アッセイの横にあるドロップダウンメニューからこのウェルに使用するアッセイを選択します。可能な場合は、アッセイヘッダーの横にある [バーコード] ボタンを押してアッセイをスキャンすることもできます。[閉じる] を押して保存し、ウィンドウを終了します。

- 測定で使用するウェルごとに手順 7 を繰り返します。

! 注 アッセイ用のバーコードが利用可能な場合、装置の右側のパネルにあるバーコードリーダーを使用してスキャンして装置に取り込むことができます。適切な [バーコ

ード] ボタンを押して、バーコードリーダーを起動します。バーコードをスキャナーから約3 インチ (7.62cm) 離します。読み取りされない場合、バーコードスキャナーは10 秒後にスキャンを終了します。



警告：レーザー照射。ビームを覗き込まないようにしてください。周囲の人や反射率の高い表面、または指定された使用を目的としていない物体にレーザーを向けないでください。

9. [測定開始] ボタンを押します。

実行が開始されると、ソフトウェアはサンプルとそのアッセイのサマリー表を自動的に表示します。特定の[グラフ] チャンネルを選択してデータを表示および分析することもできます (管理者、ディレクター、および分子ディレクターのみ使用可能)。測定名、備考、サンプル情報は、[測定情報] で測定中に変更できます。測定が完了すると、ユーザーは測定名、備考、またはサンプル情報を変更できなくなります。測定の進行中、その前の測定を表示することができます。

索引

A

AC アダプタ 14, 17, 22, 24, 25

L

LED 18, 22, 23, 27

ア

アクセスポイント接続 25

アッセイ 19, 31, 32

イ

イーサネットケーブル 14, 20, 23, 25, 27

お

お問い合わせ 10

グ

グラフ 22, 32

サ

サンプル 31, 32

ス

スタンドアロンモード 20, 22

ソ

ソフトウェアバージョン 12

タ

タッチスクリーン 22, 23, 27, 28

ネ

ネットワーク 20, 27

ユ

ユーザーアカウント 21

付

付属品 13, 14

廃

廃棄 8

文

文書 6, 7

機

機器 8, 9

注

注意 11, 15, 16, 17, 22, 23, 25, 27

温

温度 8, 22

環

環境条件 16

直

直接接続 20, 23

製

製造番号 7

記

記号 7, 11

設

設定 29

警

警告..... 11, 12, 15, 16, 32

電

電気関連..... 17

電源17, 18, 22, 23, 24, 25, 27

電源コード 14, 22, 24, 25